



第3回

もう**誰**も信じてない……

～完全版～

こんにちは。

わざわざアクセスしてくれて、ありがとう！

今回もちろん『としょかんぼう』本文の方と全然違う
文章になっていますので、どうぞ最初からお楽しみく
ださい。



ツチノコは必
ず存在すると
信じている。



早起きは三文
の得と信じて
いる。



野菜ジュース
だけは信じて
いる。



まずは、見てもらおう。



これが疑惑の木だ。

これは本学図書館の館長室の窓から見える木なのだが、
この木は一体なんの木なのだろうか・・・



私は、前のN課長(昨年度末に定年退職した)から、これがパピルスの木だと聞いたんですが・・・



全然違ったね。 ※としょかんぼうの鼎談参照



ちょっと調べた感じでは「タラヨウ」の木なのではないかと思当をつけました。



葉の裏を引っかくと文字が書けるというのは課長からの情報と一致します。



ちょっと、やってみようか。



木の植えてある場所まで行き、申し訳ないと思いつつ、調査のため葉を 3 枚いただいてきました。



ツヤっとしていて、
椿の葉に似ている。



葉のフチがギザギ
ザしてますね。立派
な葉です。





しっかりした葉だね。厚みがあって、ちょっとフカフカした感触。



ネットで調べたらクギなどで傷をつけると、その部分が黒く変色するとあります。結構、体験談もありますね。

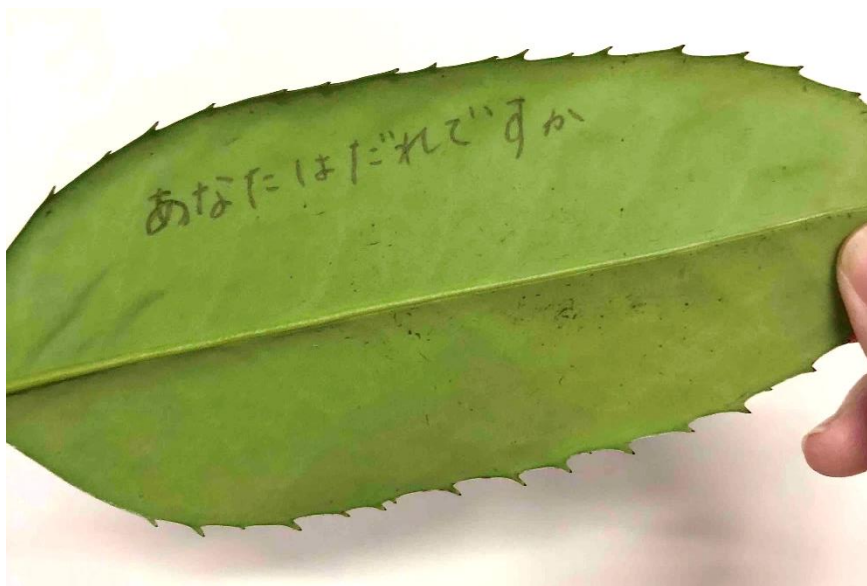


本当だ。切手を貼って手紙として出してる人もいるみたいだ。有名な木なんだね。



これは果たしてタラヨウか…

それぞれ 1 枚ずつ葉に書いてみます。





か、書けてる～～！



コイケ っていうか、怖っ！なんでこんなミステリーじみたこと書いたんですか？物語が始まっちゃう。



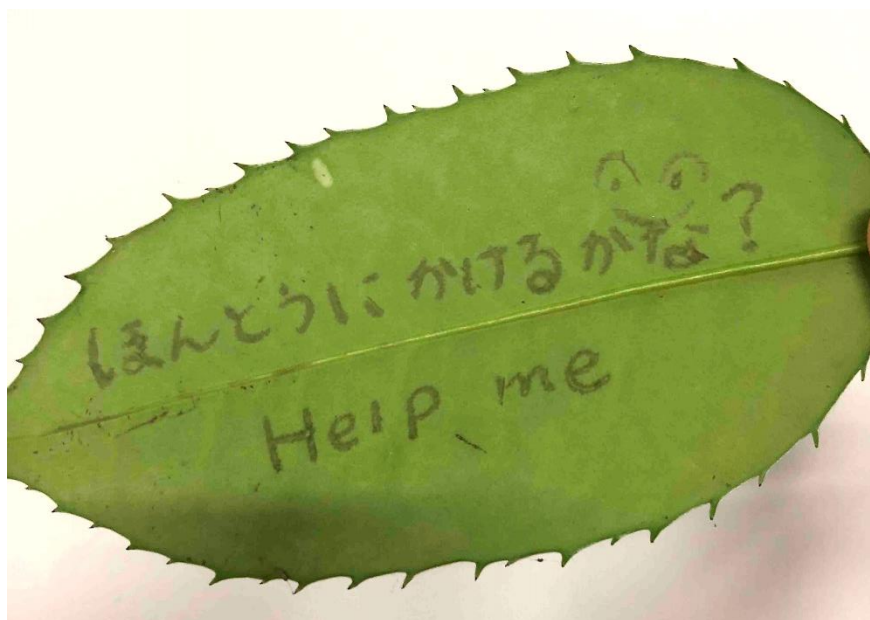
子金治 そういうつもりじゃなくて、この葉は誰なんだろうなっていう。



コイケ これ、写真撮って使うんですよ。



金ちゃん 引っかけて少し経つと、かなりハッキリ黒くなりますね。すごい。



怖っ！なんでヘルプ・ミーって書いたんですか？ダイイングメッセージ？



エクソシストの…



なんで？？？



しかし、これは実際やってみると驚くほど鮮明ですね。十分、ハガキとして使えるレベルです。絵も描けますし。



小学生が描く絵じゃん。



字、書けましたね。やはりタラヨウでしょうか。



き、決め手がわからない。タラヨウの仲間とかか
もしれないし。



それに、だいたいの葉っぱは引っかけると黒く変
色するのでは？



確かに、そんな気がします。



他の葉っぱも試してみようか。



今度は、他の葉を頂戴して試してみることに。大き目で
しっかりした葉の木から選びます。



2 種類ほど、よさげな葉があったので、やってみます。



全然ダメですね。



明らかに違いますね。すごい。



やっぱりあれがタラヨウなのかな。



レファレンスコーナー行きますか。



やってきました、レファレンスコーナー。

ここには幅広いジャンルの図鑑や事典などが置かれています。

NDC(日本十進分類法)の“470 植物学”のあたりから写真が載っていそうな本を探します。



なんで植物学の図鑑って写真じゃなくて絵なんでしょうね。



なんでだろうね。牧野富太郎の図鑑も絵だしね。
植物学ではそういうものなのかな。



絵だと、この葉っぱ(現物)と同じかわからない
ですね。植物学者は絵の方がわかりやすいのでしょうか。



一応、タラヨウは載っているね。モチノキの仲間
だって。モチノキ科モチノキ属。静岡より西の方が主な
分布ってあるけど…



え！本当だ！どの本にも、静岡以西、四国、九州
に分布って書いてありますね。



暖かい地方の木なんですね…。いや！でもう
ちの大学、オリーブの木ありますし！



意外とイケるのか？



ハガキの逸話から郵便関係の本に載ってませんか。たしか郵便は NDC の 6 類の最後の方に…

あ！樹木関係の本がたくさんある。



あ、産業系ってことか。

※あとで NDC を見たら、650 が林業、653.2 が樹木でした。



こっちは絵じゃなくて写真ですね。



葉っぱの原寸図鑑¹ありました！



すごい！ピッタリ同じだ！

¹ 濱野周泰 (2005). 『葉っぱでおぼえる樹木』. 柏書房



もうこれで確定じゃない？いやでも、静岡より西とは…。あと、他の本もだけど写真で見ると全部巨木だね。



かなり大きい木ですね。10m～12mって書いてあります。



うちのは 2mちょっとくらいでしょうか。



近い種類の別の木なのかなあ



モチノキとかクロガネモチは東北南部以南とありますね。

学生のいないレファレンスコーナー(この日は本学の入試があって休館していた。ちなみに子金治とコイケは入試業務で受験生の案内とか誘導とかした後だ。大学図書館員はそういう仕事もある)で、3 人揃って唸ってい

ると…

なにしているんですか？



あ！ 館長！！



ジャジャーン

調べものですか？



実は…前のN課長が…かくかくしかじか…



ええっ？パピルスはないでしょう。



それでタラヨウかと・・・かくかくしかじか・・・



字は書けたと。



でも、分布が静岡より西とあって・・・



じゃあ、“北限”がどこかってことですね。



なるほど！一般的じゃないけどギリギリセーフ
というラインが東北かもしれないと。



わかったら教えてくださいね。



ということで、今度はタラヨウの生息地の日本での最

北を調べます。こういう状況証拠を固めていきましょう。



あ、宮城県にあるかもしれない。

ネットで【タラヨウ 北限】などと調べますと、どうやら塩釜神社と加茂神社(仙台市泉区)にあるらしいとのこと。

宮城県のことなら河北新報で調べてみましょう。

図書館ホームページから《データベース》を選択し《河北新報データベース》をクリックします。

今度は、【タラヨウ】だけで調べてみましょう。全期間を指定します。

30 件ヒットしました。このくらいの件数なら全部目を通せそうです。

たしかに塩釜神社にあるという記事がありました。

“拝殿に向かって左手に立つタラヨウは推定樹齢
500年、高さ16メートル超。”

(河北新報 2019年7月1日)

塩釜神社のタラヨウは宮城県の天然記念物に指定されているとのこと。

新聞に掲載されている写真は、それはもう大きくて立派なものでした。

加茂神社の記事には北限について触れられていました。

“上加茂神社の前方にあるご神木のタラヨウは高さ
約十七メートル、幹回りは二・四メートル。地上四・七メー
トルから放射線状に枝を張り、円筒状の樹形となっている。
タラヨウは暖地に生息する常緑広葉高木で、静岡以西に
分布。植栽可能な北限地区で樹勢が優れているのは珍し
いという。樹齢は約二百年。”

(河北新報 1999年6月16日)



宮城県が北限かは断定できませんが、県内に結構ありますね。



あと名取市のホームページ²では佐倍乃(さえの)神社のタラヨウの木が紹介されていて、北限地帯のタラヨウとしては巨木と書いてありました。20メートルあるらしいです。



本にも寺院に多く植栽されるって書いてあったね。さすが神社にあるだけあって樹齢も長いし大木ばかりだ。



ただ、仙台中央郵便局にあるタラヨウは 5 メートルくらいだと河北新報の読者投稿欄³にありました。

² 名取市教育部文化・スポーツ課 (2015). 「佐倍乃神社本殿とタラヨウの木」. 名取市.

https://www.city.natori.miyagi.jp/soshiki/kyouiku/node_28152/node_85449/node_1793/node_1794/node_1893 , (参照 2022-11-24)

³ 河北新報社 (2015 年 8 月 23 日). 『声の交差点』. 河北新報



金ちゃん 仙台でもタラヨウが生きていけるということはいわかりましたが・・・



子金治 決定打がないよね。大きさも違うし、赤い実が成っているのも見たことないし。

※タラヨウは春に葉の付け根に赤い実が成る



コイケ 植物の同定というのは、どうなれば確定なのでしょうかね。



う～～～ん



かんいん そういえば釣りに行った時に、魚の写真を撮るだけで同定できるアプリを使いましたよ。



植物版のアプリを探し、さっそくダウンロードしました。



アノ木のところへ行こう！



カシャっとな。





タラヨウ(多羅葉)
モチノキ属の一種

※イメージ図



タラヨウだー！！！



タラヨウじゃん！すごっ！



すごい！わかるもんなんですネ。

その後、周りの草木の同定も試みました。

その結果、図書館と座禅堂の周りに生えていたのは、

椿、油茶、ハルノノゲシ、マルタゴンリリー、アオキ、ロドデンドロンマクロフィラムなど。



すごいねえ。数秒でわかるんだねえ。これが AI の実力ってこと？



画像から類似点を探しているのでしょうか。



楽しいですね。



これでタラヨウ確定？



…このアプリの信頼度は？



それは・・・なんとも・・・



さて、今回のお話は「信頼のできる情報源」です。

レポートを書く時など、なにかしらの情報発信をする際、その論の根拠となるものが信用できるかどうか**が重要**です。

今回の話でも分かる通り、「〇〇さんが言っていた」は客観的に見て全く信用できない**典拠**です。

たとえ信頼できる人が言ったことであっても、鵜呑みにしてはいけません。

勘違いや記憶違い(双方の)ということもありますし、あなたがいくら信用している人でも、他人から見たら「その人、誰？」です。

図書館のカウンターでは、たまに利用者から読んでいる本の漢字のヨミを質問されます。

この時、図書館員がヨミを答えることはありません。答えてしまうと典拠が図書館員になってしまうからです。

こういう場合は、漢和辞典等を差し出し、「この本にはこうヨミが書いてありますよ」という回答にします。





また、今回利用したアプリは 98%の精度だと宣伝されていたものですが、どのようなテストを経ての正答率なのかはわかりません。みなさんなら信用しますか？

今回の“図書館長室から見える木”に関する情報の信頼度としては、

- × N課長の話
- △ ネットの情報
- 事典・図鑑の記事
- 河北新報の記事
- ？ アプリ

といった感じでしょうか。

ネットの情報は、官公庁をはじめとする信頼のおける機関が公開しているものは典拠として信用できるでしょう。

個人のブログや SNS は、その人の思い込みや勘違い、説明不足による誤解、保存性等、様々な面から典拠にはなりません。ただし、ヒントになることはありますので、そこから参考文献等の信用できる情報を探りましょう。

あと、本であっても、それが最新版かどうか、正誤表が発表されていないかなど注意しましょうね。



コイケは実際、誰も信用していないよね。



もちろんです。自分すら信用していません。文献しか信じません。



文献は信用しているんですね。



正確に言うと信用してはいませんが、証拠として現物が存在しますし、著者や出版社がわかればいつでも詰められるので。



怖い。



参考文献

濱野周泰(2005).『葉っぱでおぼえる樹木』. 柏書房
青葉高(1988).『園芸植物大事典』. 小学館
邑田仁(2004).『原色樹木大圖鑑』. 北隆館
平野隆久(2007).『よくわかる樹木大図鑑』. 永岡書店

使ったツール



おまけ



レファレンス協働データベース⁴にタラヨウがハガキの語源かどうかという事例があるんですが、ハッキリとはしないみたいです。



ひとつの説ということなんですね。



本当に郵便で送れるかやってみたいな。



やりたい！

⁴ レファレンス協働データベース <https://crd.ndl.go.jp/reference/>
(全国各地の図書館のレファレンス事例が検索できるサイト)